

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社チャイルド・ピース
施設名	小鳩ナーサリースクール浜離宮
施設所在地	港区浜松町1-3-1 浜離宮ザタワー203

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

やさい・くだもの (クッキング 2-4歳児)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

「やさい・くだもの」は、給食や日々の生活の中で子どもにとって身近で親しみやすく、関心を持ちやすいテーマである。都心に位置する本園では、調理や栽培などの実体験が少ないからこそ、五感を使った体験を通して感性を育むことを大切にしている。また、少人数かつ異年齢保育という環境を生かし、年上の子どもと年下の子どもが互いに関わりながら共に活動することで、自然なつながりが生まれ、言葉の育ちや気づき、発見の共有へとつながっていく。自分で選び、育て、食べるという一連の体験は、主体性の育ちにもつながる。こうした探求心を育むことをねらいとして、本テーマを設定した。

## 2. 活動スケジュール

- ・12月16日ココアバナナ作り
- ・1月23日カレー作り

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ココアバナナ作りやカレー作りの調理体験を行うため、包丁やまな板、ピーラー、IHコンロ、鍋などの調理器具を準備した。子どもが食材に触れたり簡単な調理に関わったりできるよう、保育者が側につきながら安全に取り組める環境を整えた。

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ココアバナナ作りでは、包丁とまな板を使ってバナナを切る体験を行った。調理師から包丁の持ち方や切り方を教わりながら取り組み、おやつ時には自分で切ったバナナをココアソースにつけて食べた。カレー作りでは、前日に食材の買い物を行い、当日はピーラーや包丁を使って具材を切ったり、炒めたり、煮込んだりしながらカレー作りを体験した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

調理師から包丁の使い方を教わりながらバナナを切る体験を行った。「こうかな?」と試したり、「お家でもやったことある」と話したりしながら真剣な表情で取り組んでいた。切ったバナナを「見て見て!」と保育者に見せる姿もあり、保育者は言葉を添えながら関わっていた。また、食材の匂いや感触に触れながら調理前の食材を見る中で、「本当にカレーになるの?」と不思議そうにする様子も見られた。調理が進むにつれて「早く食べたい!」と期待する声も聞かれ、出来上がったカレーを嬉しそうに食べていた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

調理の体験を通して、子どもたちは食材の匂いや形、皮をむいたときの色の違いなどに気づきながら関わっていた。保育者や友達と一緒に調理する中で、食材や食べ物への関心につながっている様子が見られた。調理の過程に関わる経験が、食べることへの興味につながっていくことを感じた。